

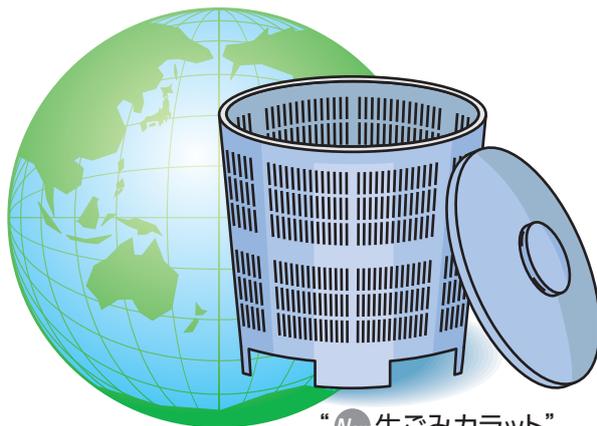
みんなで取り組む家庭の生ごみ！

New

# 生ごみカラットで

# 温暖化対策しませんか！

特定非営利活動法人



“New 生ごみカラット”

風は上に抜けます…高い通気性！  
フタは密閉… 雨侵入防止！  
ネズミ対策…OK！  
コバエ対策…OK！

生ごみカラットは“ぬらさない&水切りした”生ごみを風通しのよい状態で半乾燥させる容器です

## 生ごみは多様なミネラルを豊富に含む貴重な有機資源

生ごみが腐敗する主な原因は、生ごみに多く含まれる水分なのです。

“生ごみカラット”を使用し生ごみの水分を減らすと、腐敗しにくくたい肥化しやすくなります。品質のよい食品リサイクルたい肥は多様なミネラルを多く含むため、土壤病原抑止力の高いことがわかってきました（農林水産省「高品質肥料認証制度構築事業」報告書より）

また、可燃ごみとする場合も、生ごみの水分を減らすことで、収集車の運搬効率やごみ焼却施設での燃焼効率および熱利用効率が向上し、二酸化炭素の排出量を削減できるので、身近な温暖化対策ともなるのです。

生ごみをたい肥化する場合も、可燃ごみとする場合も、生ごみカラットは有効な容器なのです。あなたも、自然環境にやさしい“生ごみカラット”を使って、人と自然にやさしい衛生的な生ごみの処理を考えてみませんか。

悪臭・腐敗  
の 防 止

水分の減量  
資 源 化

地球温暖化  
対 策



容量:約8ℓ サイズ:直径27cm 高さ28.5cm

New 生ごみカラット 頒布価格:850円(排水口用の浅い受皿付き) 送料別途

問い合わせ先 特定非営利活動法人生ごみリサイクル全国ネットワーク

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3丁目1-5 Tel & Fax:03-3483-3761 Tel:080-5007-3778  
Email:grnj1437@grnj1437.sakura.ne.jp URL:http://grnj1437.sakura.ne.jp

がんばってみよう!



ぼくたち、  
わたしたちの未来を  
大切に!

## 腐敗・悪臭の防止 と 衛生的な処理

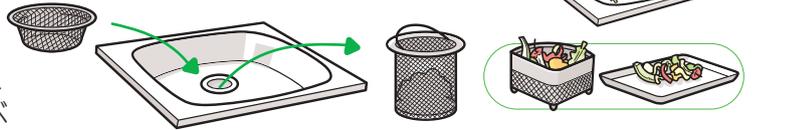
生ごみに含まれる水分を取り半乾燥させると、悪臭を出す微生物の活動をおさえることができます。  
 なお、**肉や魚など動物性たんぱく質の生ごみ**は、くさりやすく悪臭が強いため、ハエやドブネズミなど衛生害虫を誘引するので、他の生ごみと分けて燃却する方が衛生的です。  
 魚や肉などはカラットに入れなくて、収集日まで冷蔵庫に保管し、可燃ごみに出しましょう。



## 生ごみの減量 と キッチンでの生ごみの扱い方

余計な買い物をしない、食べるだけつくる、食べ残しをしないなど、まず生ごみを発生させないことです。  
 次に大切なことは、**生ごみの水分を取る（ぬらさない！&水切りする！）**ことです。

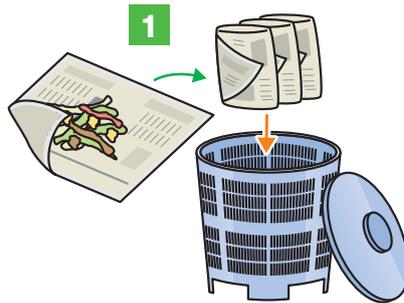
- 流し(シンク)の中に生ごみを入れない。生ごみに水道水をかけない
- 排水口の深い受皿は浅い受皿にとりかえ、深い受皿や三角コーナーは水道水がかからぬよう流し台の上へ上げ、生ごみの仮置きに使う
- 浅い受皿の細かい生ごみは水切りする
- 水分を取った生ごみをカラットに入れ、風通しのよい屋外やエアコンの室外機のそばに置く
- 乾燥しにくいスイカやメロンの皮、茶ガラなどはベランダの植木鉢でたい肥化する **3**



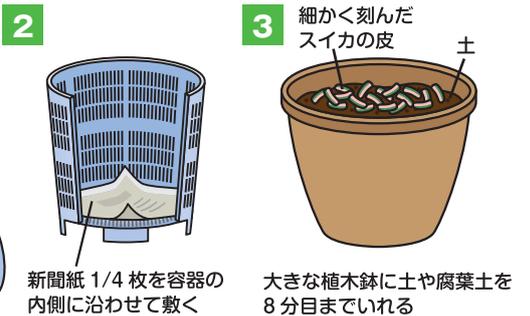
ベランダに大きな植木鉢を1つ用意する。植木鉢に土や腐葉土を8分目まで入れ準備完了。スイカやメロンの皮は1cm程度に細かく刻み植木鉢へ入れ、土とよく混ぜ、上にうすく土をかける。1週間もすれば分解する

## カラットの使い方

**1** 一日の生ごみを新聞紙で包みカラットへ入れる。ごみ出しの日までくりかえす  
 次々と重ねて入れなくて、カラットに立てかけるように入れ、詰め込まない



**2** 新聞紙1/4枚を容器の内側に沿わせて敷く。そこへ生ごみを入れていく  
 ※新聞紙を敷いておくと、容器ににおいがつかず、洗う手間が省ける

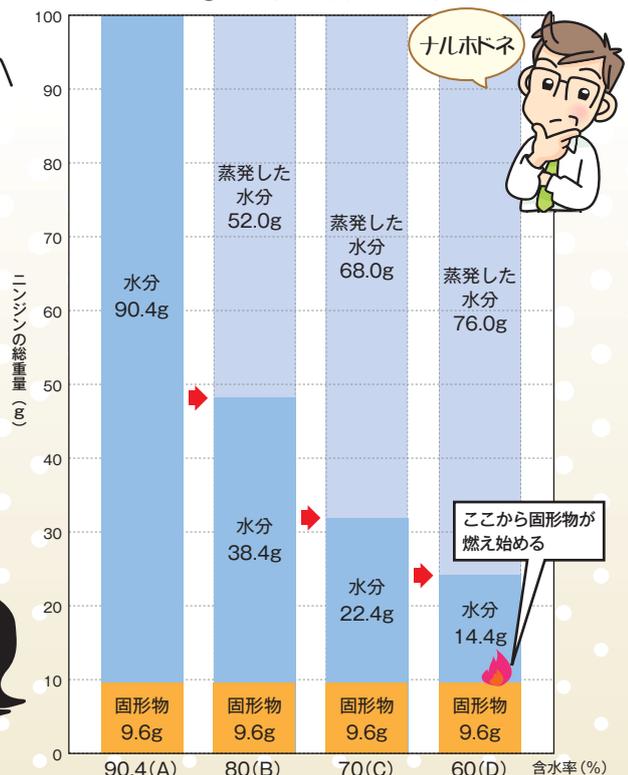


**1** または **2** の方法で生ごみを保管し、可燃ごみや生ごみ(たい肥化)の収集に出す  
 ● 自分でたい肥化する場合およびコバエ対策は、パンフレット(生ごみカラットの使い方)を参照する



100gのニンジンには76gの水を蒸発させないと燃え出さない

ニンジン 100g が自然燃域に達するまでの水分量の変化



## 水を燃やすには大量のエネルギーが要る

可燃ごみの30~40%が生ごみで、生ごみの約80%が水分(平均含水率80%)です。

例えば、右図のように100gのニンジンについて見ると、ニンジンはAのように水分が90.4g(含水率90.4%)あります。このニンジンが燃え出すには、自然燃域(含水率60%・Dの状態)まで水分を蒸発させなければなりません。蒸発させる水分は、なんと76.0gにもなります。

焼却炉でニンジンを燃やすには、水を蒸発させるためのエネルギーと、白煙(水蒸気)を消すためのエネルギーが要ります。

そのため、生ごみを焼却するにはエネルギーを多く使い、二酸化炭素を大量に出すだけでなく、税金を多く使うこととなります。

水分を減らせば、ごみ処理費用は大幅に減ります。排熱も温暖化を加速しているのです。

(含水率は日本食品標準成分表・科学技術庁資源調査会4訂版より)

